



組織現況 2015年5月31日現在

組合員数 26,521 人
出資金総額 93,854万円
一人当たりの出資額 35,388 円



とやま医療生協 虹のまち

2015年7月号 No.387

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

発行 富山医療生活協同組合

願いを集めて

となみ野支部結成



六月九日(火)、二十二名の参加で支部結成総会が開かれました。総会では、今後の医療生協活動に向けての抱負など積極的な意見が交流されました。
となみ野支部は砺波市、南砺市、小矢部市のエリアを対象とし、広範な地域での医療生協活動の広がりが期待されます。

中味の充実した
班会を開いて
健康なまちづくりを
すすめたい

たすけっとクラブを広げ
“今は自分が助けて、やがては
安心して助けてもらえる”
お互いさまのある安心の
まちづくりをしていきたい

支部ができたので
みんなの力で、
声かけ運動をしたい



総代会では、全議案が満場一致で採決され、新役員も選出されました。また、総代会アピール「戦争をする国づくりを許さず、憲法九条、二十五条を守り活かす社会の実現のため全力をつくそう!」を採択し、「戦争する国づくり」を許さず、「住民本位の地域まるごと(包括)ケアの事業と運動」を大きく成功させること、地域の隅々に医療生協の活動を知らせ、協同の取り組みを広げることが宣言し、閉会しました。

第62回 通常総代会

協同の力で、
いのちとくらしを支える
事業と運動を

第六十二回通常総代会が六月二十七日(土)、富山県中小企業研修センターにおいて、総代、来賓・オブザーバー・役員あわせて二五四名が参加して開催されました。

「助け合いの
まちづくり
ひろげたい」

昨年の高齢者大会を機に、医療生協の支部をつくらうと準備会がたちあがり、地域の組合員やその他団体にも呼びかけながら健康教室や医療生協の活動紹介をする企画を行ってきた。現在、小矢部市、砺波市、南砺市合わせて組合員数二〇〇名あまりと、一番小さな支部です。

医療生協の事業所がない地域のため、医療生協の認知度はまだまだ低いです。が、たすけっとクラブの活動を通して、十名の組合員

第21回富山医療生協 平和納涼まつり

憲法を守りいかそう

日時 7月25日(土)
午後5時~7時30分

場所 在宅福祉総合センター「ひまわり」駐車場
☆小町でも開催します。

- 原水禁世界大会壮行会
- 大鼓富山ダルクさん
- 平和企画
- 健康チェックコーナー(骨密度・足指力・血圧)
- 模擬店 そうめん・黒豆おこわ・かき氷・どんどん焼き...etc
- お楽しみ抽選会

主催: 富山医療生協平和納涼まつり実行委員会 TEL (076)441-8351

が増えました。今後とも楽しみながら「わ」を広げて、助け合いのネットワークづくりをすすめていきたいと思えます。
となみ野支部
支部長 吉田とみ子

内視鏡

私たちの大切な年金を管理・運営している日本年金機構が約一五百万件もの個人情報を出した▼かつて「消えた年金」が大きな問題となり、社会保険庁を改組して出直した結果が今度「漏れた年金」、厚生労働省の信用失墜は目も当てられない。漏れたのは、年金番号、氏名、住所、生年月日など基本的な情報だ▼日本年金機構へは、社会保険庁から多くの幹部が横滑りした一方で、有能な職員が「あいまいな理由」で解雇され、裁判で闘っている。

その穴埋めに多くの非正規労働者を雇っているが、仕事の過酷さに辞めていく人が絶えない▼来年一月一日にマイナンバー制度がスタートすることになっている。国が税・社会保障・災害対策の効率化を目的に国民に番号を割り振り、活用する。番号通知は十月から始まる。本日にこのままスタートしていいのか▼安倍首相に塩崎厚労相、第一次安倍内閣の倒れた時と同じコンビだ。「戦争する国づくり」に狂奔し、肝心の国民生活の重大な危機が迫っていることに手をつけようとしていない内閣には、再び退場していただくしかない。

(S)

退任挨拶

組合員の皆さまには、平素より大変お世話になりありがとうございます。

さる6月27日開催の通常総代会におきまして、理事長ならびに理事を退任することになりました。

後任の理事長には、与島明美協立病院院長が就任いたしました。

尚、今後は富山医療生協顧問として、新理事長を先頭に新たな船出をする富山医療生協の活動を、微力ながらお手伝いさせていただきます。

末筆ながら、皆さまのご健勝と一層のご活躍を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

大野 孝明

就任挨拶

皆様方には、日頃からお世話になり有難うございます。

この度、大野孝明理事長の後任として富山医療生活協同組合理事長に就任いたしました。

医療や介護をめぐる状況はますます厳しさを増しておりますが、組合員、地域住民の皆様と共に「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」ために、微力ではありますがこの重責を果たして参りたいと存じます。

理事長 与島 明美



「地域の声を聞こう」と、えがお職員と一緒に〇〇〇軒の地域訪問を実



「〇〇〇軒地域訪問の幸い」尾花 幸洋総代 (山室支部)

「患者の思いに応える看護を」高嶋 峰子副総経理 (協立病院)

認知症やがん末期の患者さんなど、不安感が大きくなる方への対応として、西二階病棟では「タクティールケア」を取り入れていまして、手を使って十分程度

退任理事の紹介

Table listing names and terms of office for retiring board members, including 大谷むつ子, 大村 正敏, 岡田美乃利, etc.

協同の力で安心のまちづくりを広げよう

「救急医療情報キットで安心のまちづくり」火爪 直一総代 (とよ中央支部)

孤独死を防ぐ取り組みを、医療情報救急キットの普及を長寿会、医療生協

ながら配りました。その後、使用状況のアンケート訪問も実施し、見守り活動の環境となつていきます。

この取り組みで、三名の加入があり、えがおの利用に繋がったケースもありました。



相手の背中や手足をやわらかく包み込むよう「触れる」ケアです。不安感がなくなり、落ち着く方が多くおられます。

また、人工呼吸器の患者さんの「入浴したい」という思いに応えるため、他職種(医師、リハビリ)と協力して入浴介助に取り組んでいます。

今後も、患者さんの思いを大切にしながら看護・介護の技術を上げていきたいと思ひます。

15年 理事・監事名簿

Table with columns for position (理事/監事), name, and residence, listing board members for the 15th year.

第62回通常総代会 班・組合員表彰. Includes a photo of a woman receiving an award, a list of award recipients by branch, and a list of class members.

第62回通常総代会決定

2014年度 活動のまとめ 2015年6月27日(土)

はじめに

第28回「日本高齢者大会in富山」は、全国から5,200人の仲間を迎えて大成功を収め、富山における高齢期運動の発展と地域協同の前進への基礎を築きました。また、社会保障制度の後退の中でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域・事業所で取り組んできました。



2014年度 富山医療生協のあゆみ

Calendar of activities for 2014, listing dates and event names such as WHO World Health Day, regional association meetings, and various seminars.

1 医療生協のネットワークを広げるまちづくりの課題

- ①安心のまちづくり～社会的孤立を防ぎ、認知症になってもくらし続けられる、災害に強いまちづくり。
i) とよ中央支部では、長寿会と協力して救急キットを試験的に配付し、射水支部では、射水市と「地域見守り」協定を結びました。
ii) 「地域まるごとケア」を視野に、地域包括支援センターを訪問(4支部7ヶ所)し、認知症サポーター養成講座を共催しました。
iii) たすけつとクラブは、全支部とブロックに対応したコーディネーター24名を配置して、支部での助け合い活動も前進させながら、一年間で活動回数1,713回2,320時間となりました。
iv) 県生協連や民医連とも協力して、震災復興と原発事故被災支援に取り組んでいます。
v) 県生協連として、「地域包括ケア・地域支援事業」に向けた自治体訪問に取り組んでいます。
②地域まるごと健康づくり～生協運動の柱として、全ての世代の健康づくりを。
i) 特定健診、がん健診とも目標を達成。富山市における大腸がんと乳がんの自己負担無しの健診も好評で、利用者が約3割増加しています。
ii) 地域まるごと健康づくり
・まちかど健康チェックは、全国チェーンのスーパー銭湯を含め25支部78ヶ所16,489件数に広がり、組合員加入にも結びついています。地域の健康フェスタも15ヶ所で取り組まれ、骨密度測定や「シルバーハピリ」「あいうべ体操」等を普及しています。
・健康チャレンジャーは、集団的な広がりを作れず、登録者(396名)修了率(46%)ともに目標に達成しませんでした。
iii) 「脳いきいき班会」は、養成講座や実践交流会を通じて、19支部28班84回開催(延べ708人)へと広がりました。
iv) 保健係り養成「保健講座」(26名)と「保健係り交流会」(年4回)を開催。現在47名(内新8名)が、まちかど健康チェックなどで活躍しています。
・ブロック毎に「健康教室」を開催(3回108名)。
・支部運営委員会に「健康づくり係り」(21支部24名)を配置し、「健康づくり係り会議」を定例開催しています。
③福祉事業～くらしを支える事業を。
i) 福祉運送事業(介護タクシー「とまと」)の利用促進。訪問介護事業の一環として本格的に展開し、通院などでの介護保険利用とともに、自由料金での利用も広がっています。
ii) 中期計画を考える「生協の明日を語り合うつどい」で住まいの課題について学習し理解を深めました。配食については検討できませんでした。



射水支部、市と見守り協定

3 人権を守る社会保障制度(医療・福祉)の充実をめざす課題

- ①経済的社会的困難者への支援。
・「無料・低額診療事業」は、生活保護や保険証の取得、また生活改善や健康回復へ結びつく一方で、継続が必要な人もいます。また、無低診適用外の保険薬局での医療費支払いに苦慮する方も少なくありません。
・経済格差は一層拡大しており、あらためて社会保障制度の強化が必要とされています。
②社会保障の改悪を許さず、充実を求める。
・社会保障運動を支える署名活動に積極的に取り組みました。
③環境と平和と人権を守る。
・特定秘密保護法廃止、消費税増税の中止、原発廃止、憲法9条を守る活動、県生協連の海岸クリーン作戦に取り組みました。
・病院待合室に平和コーナーを設置(7/10～8/11 原爆・平和図書)し、「一言メッセージカード」など掲示し、患者利用者に運動への賛同を呼びかけました。
④地域協同。
・県生協連やJA・社協と協力して、高齢者大会や地域協同推進シンポジウムに取り組みました。



戦争法案反対集会

4 医療生協の発展をめざす課題

- ①地域とつながる支部活動の発展をめざす。
・医療福祉生協連の「いのちの章典・理念」「2020年ビジョン」を学び、地域の健康づくり・まちづくりの促進に努めました。
②全国4課題(目標)～楽しく、ためになり、頼りになる活動を豊かに展開する。
課 題 2014年度到達/目標 課 題 2014年度到達/目標
仲間ふやし 1,209人/1,750人 新班づくり(含む再開) 27班/102班
出 資 金 73,407千円/1.5億円 支部設立・分割 1/4支部
増資実人数 3,946人/5,000人 運営委員・サポーター 320人/350人
班 会 1,715回/1,500回 行事参加(延) 19,404人/16,000人
班会開催班 228班/350班
配付コース コース増65



生協の明日を語り合うつどい

- i) 仲間増やし
・支部では、物故された方への対応が確立してきました。
・個人加入の意義を運営委員会などで学びました。
・事業所では、等身大パネルの展示やポスターコンクールを行い「虹の出会い月間」をアピールしました。
ii) 増資
・積立増資者は増えましたが、総額では減っています。北ブロックを中心に病院CT増資が呼びかけられましたが、目標には届きませんでした。
iii) 班会
・「脳いきいき」「吹き矢」や事業所の運動機器を活用した健康班会が伸びました。
iv) 担い手づくり
・支部分割や班活動の前進、地域訪問やたすけつとの取組みを通じて、新しい担い手が誕生しています。
③ホームページ、機関紙虹のまち、事業所ニュースなど、内容の充実と有効活用。
・ホームページモニター会議を4回開催しました。



とよ北支部 城川原班食事会

2 地域と組合員の期待に応える医療・介護事業を推進する課題

- ①地域の期待に応えた事業の質の向上を。
・病院では、チーム医療の推進にむけてカンファレンスの充実や「チームステップ」の導入に努めています。
②高齢者にやさしい診療所・病院づくり。
・病院では、「人権尊重と高齢者にやさしい医療」を目標に掲げ、「ユマニチュード」や「タクティールケア」などの学習と実践に取り組んでいます。
③電子カルテの活用。
・情報を迅速に共有を図っていましたが、医療の質の向上や患者満足度の検証ははかりながら、さらなる改善が求められます。
④医療と介護の切れ目のない連携機能の充実強化。
・入退院調整をはじめ法人(事業所・職種)を超えた連携と24時間対応の強化を図りました。

- ・協立病院では、医療連携を推進するために「地域包括ケア病床(16床)」を導入しました。
・訪問看護ステーションは、「きずな」と「ひまわり」の2か所に統合して体制と機能を強化しました。
⑤「いのちの章典・理念」を医療介護事業に活かす。
・生協学校を開催し、事業所の部署責任と組合員で意義と内容を学びました。
⑥医療介護従事者の確保と育成。
・医療生協の魅力と働きやすさを訴え、アピールするため、職員と組合員による医師・薬剤師・看護師などの紹介活動に取り組みましたが、十分な成果を得ていません。
⑦適切な剰余の確保。
・利用件数の減少、入院患者層の変化(医療必要度合よりも介護必要度合が大きくなる傾向)等の中でも、医療介護の連携や、在宅療養、健診活動など医療生協の優位性を活かした事業を進め、経常剰余を確保することができました。

5 第2次夢プラン中期事業計画(2015~17)にむけて

誰もが安心してくらし続けることができる「地域まるごとケア」の実現にむけて、医療介護事業の新たな展開や住宅政策について組合員と職員による「生協の明日を語り合うつどい」を4回(のべ188人参加)開催しました。引き続き、多くの組合員の声を集めながら地域の実情や行政の分析を職員といっしょに検討します。

6 「第28回日本高齢者大会in富山」の成功

地域毎に結成した実行委員会を基礎にしながら、県内15市町村、富山市社会福祉協議会・富山市老人クラブ連合会・マスコミ各社の後援を受け、5,200人の参加(富山2,000人)で成功しました。今後の地域協同と高齢期運動発展への可能性を広げました。

2014年度の活動状況



第62回通常総代会決定
2015年度の活動のすすめ方

協同の力で、いのちとくらしを支える 事業と運動を創り上げよう！

ユマニチュード
 「見る」「話す」「触れる」「立つ」のコミュニケーションを基本とした認知症ケアの手法の一つです。暴力的な行動や心理状態になった人にも効果があると言われてます。

「チーム・STEPS (ステップス)」
 医療の質・安全・効率をより向上させるためのチームワークの形や方法のことです。患者さんを頂点にして医療従事者がお互いを尊敬しベストの関係を保つことで、医療行為全体と患者さんの安全を保つ医療安全文化の育成を目指します。

「タクティールケア」
 手を使って10分間程度、相手の背中や手足をやわらかく包み込むように触れます。身体が温まり穏やかな気持ちを体感でき、患者・利用者と心と心の交流が促進されます。

はじめに 私たちの目指すこと

いのち・くらし・平和をおびやかす政治がますます強まります。

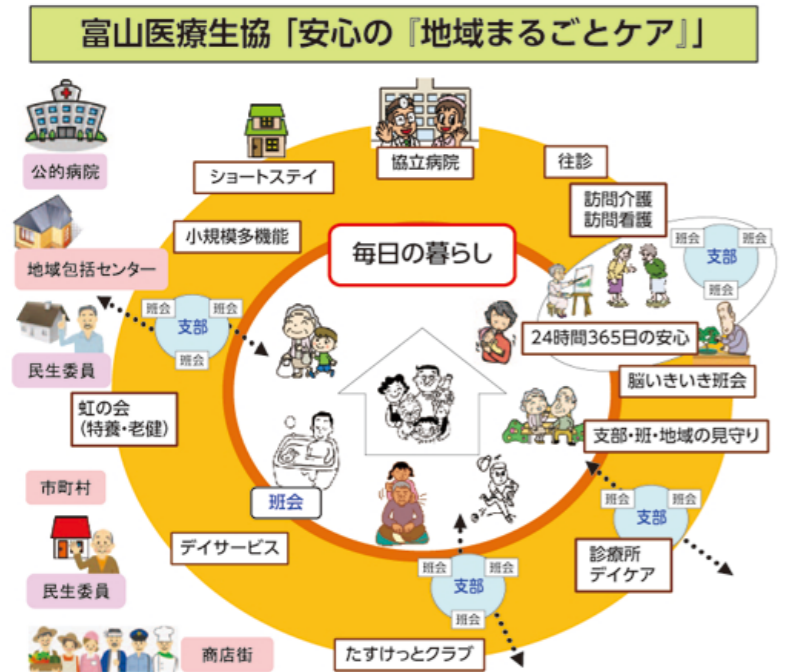
- 社会保障の改悪を許さず、組合員と地域住民のいのちと健康を守ります。
- 協同のあるくらしをめざして医療福祉生協の組織と運動を大きく前進させます。
- 連携のとれた医療介護福祉事業を組合員の総意で着実に進めます。



総代会後の主な組合員活動内容

	医療生協行事	医福連 民医連 県生協連 その他
7月	・平和納涼まつり(25・土：ひまわり駐車場) ・ボランティア学校(30・木：病院会議室)	・県母親大会(19・日：高周波文化ホール) ・県生協連設立50周年記念(24・金)
8月	・ぼぶら夏まつり(2・日) ・のびのび夏まつり(22・土) ・脳いきいき実践交流会(25・火)	・日本母親大会(1・土～2・日：兵庫) ・原水爆禁止世界大会(4・火～6・木：広島)
9月	・通信教育開校式(5・土・病院会議室) ・虹の出会い月間スタート集会(26・土・午前)	・東海北陸ブロック共同組織活動交流集会(6・日～7・月：三重県鳥羽市) ・第29回日本高齢者大会in和歌山(15・火～16・水)
10月	・ブロック別ウォークイベント ・水橋健康まつり(未定) ・富診まつり(25・日) ・パークゴルフ本選大会(30・金：下村ゴルフ場)	
11月	・保健講座(未定) ・ブロック別保健教室	
12月	・くらしの学校(未定)	
2月	・虹のバレンタイン行動	・医福連いのちの章典実践交流会(東日本会場 25・木)
3月	・組合員のつどい(5・土)	・医福連いのちの章典実践交流会(西日本会場 1・火)

※日程は変わる場合もあります



**(1) 地域の要求をつかんだ医療・介護・生活支援の事業と運動
 ～医療生協の「地域まるごとケア」を推進します～**

- 安心のまちづくり～社会的孤立をなくし、認知症になっても住み続けられる、災害に備えるまちづくりを進めます。
 - 高齢者や社会的弱者をひとりぼっちにしないやさしいまちづくり。
 - 地域の「見守り・見守られる」つながりの強化。高齢組合員の把握と地域包括支援センターとの連携の強化。～配付係り一声運動、救急キットの普及、支え合いマップ、自治体と見守り協定～
 - 総合的な相談活動の強化。
 - 事業所の相談窓口機能の発揮と、支部や行政との連携強化。
 - 地域のくらしの相談所(くらしの相談員育成。支部の助け合い活動前進)
 - 誰でも気軽に安心できる「居場所」づくり(お茶の間・サロン・たまり場)
 - 一部屋開放お茶の間タイプ・公民館タイプ・借り上げタイプ
 - 生協の支え合いとして「たすけとクラブ」強化とボランティア学校の開催。
 - 震災復興と原発事故被災支援の継続した取り組み。災害時の事業継続対策と自治体との連携。
 - 「提案と協同」を軸に、県生協連や各種協同組合、福祉ネットや行政等との連携強化。
- 地域まるごと健康づくり～全ての世代の健康づくりを大胆に展開します。
 - 子育て世代支援の取り組みと家族ぐるみの健康活動(大腸ガン350名・蓄尿塩分調査)
 - 1,000人の健康チャレンジャー～登録者と達成率の増加(7月開始)
 - まちかど健康チェック～全支部実施で目標15,000回・尿チェック500回
 - WHO「保健デー」「禁煙デー」「ウォークイベント」を多くの団体とともに取り組みます。
 - 要求にあった健康班会の継続と普及(脳いきいき、シルバリーハビリ体操、あいうべ体操、笑いケア体操、介護教室、あいうべ体操リーダー講習・脳いきいき班会実践交流会など)
 - 地域の諸団体と協力して健康教室を開催します。



協立病院利用委員会 院内清掃オレンジ作戦



WHOウォークイベント(東ブロック)

- 地域の期待に応えた事業の展開と質の向上。

《医療介護事業》

 - 医療介護の抑制政策と利用者負担の増加のなかでも、的確な収支バランスをとって剰余が確保できるように、組合員の利用促進と経営改善を進めます。
 - 安全性の確保と質の向上
 - 「QI活動」を医療介護の全事業所で本格的に進めます。
 - 後期の研修医制度とも連動しながら、「プライマリ・ケア」と在宅医療介護の強化を図ります。
 - 各種技法も活用しながら人権を尊重し、高齢者にやさしい事業所作りを組合員とともに進めます。
 - チーム医療の推進と、「いのちの章典」の実践ガイドラインを活用しながら、事業と運動の両面で実践します。
 - 職員の満足度向上とMBO(目標管理によるマネジメント)の有効活用をはかります。
 - 医療介護従事者の確保と育成に組合員の力を発揮します。
 - 事業展開
 - 「地域まるごと(包括)ケア」の中で、医療介護の連携機能を強化(中重介護度や認知症、24時間要求への対応。職種や事業所を越えた連携)し、組合員や地域の要求に応えます。
 - 介護タクシー「とまと」を事業所の利便性向上と生活支援の両面で利用促進を図ります。
 - 購買生協などとも協力しながら、住まいと食(配食)の検討を始めます。

《生活支援分野》

 - 県生協連などとともに、新しい地域支援事業への対応を進めます。

**(2) いのち・くらし・平和・憲法をまもる
 ～学びを基本に、共感を広げ、連帯して取り組みます～**

- 経済的社会的困難者への支援。
 - 「無料・低額診療事業」の利用促進と保険薬局への適用拡大
 - 小児、高齢者、障がい者などの窓口負担軽減
- 社会保障の改悪を許さず、充実を求める。
 - 安心の医療介護をめざす取り組み
 - くらしの学校の開催
- 戦後70年の歴史に立ち、環境と平和、憲法・人権を守りきる運動を進める。
 - 特定秘密保護法廃止、更なる消費増税の中止、原発再稼働をさせない
 - 省エネと環境保全の取組み(エコ、海岸クリーンなど)
 - 核兵器廃絶、NPT再検討会議、日本母親大会、原水禁世界大会、日本高齢者大会への代表派遣



笑いケア体操(針原支部)

(3) 思いをかたちに ～事業の質向上と中期事業計画策定～

- 職員と組合員の協同で「いのちの章典・理念」を学び、事業と運動で実践します。簡易版も作成しながら、ライフデザインノートを事業で活用します。
- 「生協の明日を語り合うつどい」を進めながら組合員の総意で中期事業計画作りと新規事業を成功させます。
- 対象を絞ったアンケートと集いの開催などを通じて、団塊世代への働きかけを強めます。
- 内部統制ルールの構築と、大規模災害時の危機管理の準備を進めます。
- これからの時代にふさわしい生協の役割が果たせるように定款をはじめ諸整備(定款、法人名称、事業選択や形態など)の検討を進めます。

**(4) 要求を実現できる組織を大きく
 ～加入は「安心のネットワーク」と言える質・量をつくる～**

- 顔の見える生活圏域での支部づくりと支部分割、ブロック活動を強化します。ブロックも更に分割しながら、支部の活動を援助します。
- 全国4課題～楽しく、ためになり、頼りになる活動を豊かに展開します。
 - なかま増やしと班会は、1,500人、1,600回を基本に、支部・事業所の自主目標の設定と達成を堅持します。
 - なかま増やしは、組合員本人加入の取組みを強めます。
 - 事業所では、なかま増やしや増資を業務として位置づける仕組みを作ります。
 - 班会は、全支部で3つの新班づくりをめざします。
 - 増資：(15,000万円) 増資協力者目標5,000名
 - 担い手づくり
 - 一人15部以内になるように配付協力者を増やして、支部内手配り配比率100%をめざします。
 - 全支部で2名以上の新運営委員を迎えます。
 - ブロック単位で、「保健係り」を養成する保健講座と、医療生協の新しい健康習慣を普及する保健教室を開催し、全体でも保健係り交流会を開きます。
 - 地域訪問を重視し、行事参加者と班会開催班の倍化をはかります。
 - 新加入組合員への挨拶訪問やウェルカムパーティーを実施します。
 - 事業所での「生協ニコニコデー」(100%利用の日)を引き続き実施します。
 - 通信教育(「いのちの章典」「地域包括ケア」)コースを中心に協同で取り組みます)
 - 全職員を対象に、生協の理念や事業と運動の関係などについて、組合員との協同で生協学校を開催します。
- ホームページ、機関紙「虹のまち」、事業所ニュースなど、一層の内容充実と有効活用を図ります。

貸借対照表

2015年3月31日現在(単位:円)

資産の部	期末残高	負債及び資本の部	期末残高
I. 流動資産	1,008,666,133	III. 流動負債	525,253,069
現金・預金	372,345,884	短期借入金	130,000,000
医療未収金	576,545,708	長期借入1年以内償還	160,960,000
貸倒引当金△	3,800,000	短期リース債務	20,850,480
棚卸資産	17,819,268	買掛金	90,114,051
仮払金	3,966,852	未払費用	68,034
未収金	5,328,643	預り金	13,522,291
前払費用	14,814,416	出資預り金	4,428,442
立替金	229,490	賞与引当金	73,000,000
繰延税金資産	21,415,872	未払消費税	5,958,800
仮払消費税	0	未払法人税等	22,433,487
II. 固定資産	2,357,988,827	未払い金	3,917,484
(1)有形固定資産	1,838,141,691	IV. 固定負債	1,370,764,958
1.建物	2,051,970,513	長期借入金	433,634,000
減価償却累計額△	1,136,158,537	組合債	14,970,000
2.建物付属設備	1,613,435,161	組合債預り金	0
減価償却累計額△	1,419,024,447	退職給付引当金	858,216,273
3.建物造作	0	リース負債	63,944,685
減価償却累計額△	0	負債合計	1,896,018,027
4.構築物	191,382,668	V. 出資金	929,396,000
減価償却累計額△	165,108,069	組合員出資金	929,396,000
5.医療機械	766,424,201	VI. 剰余金	541,240,933
減価償却累計額△	677,379,206	(1)法定積立金	74,150,000
6.器具備品	298,591,314	法定準備金	74,150,000
減価償却累計額△	281,898,525	(2)医療福祉等積立金	392,000,000
7.リース資産	139,003,200	医療福祉等積立金	392,000,000
減価償却累計額△	58,245,900	(3)任意積立金	62,000,000
8.土地	515,149,318	別途積立金	0
9.建設仮勘定	0	役員退職慰労積立金	25,000,000
(2)無形固定資産	24,100,808	生協会館建設準備金	37,000,000
借地権	9,710,428	(4)当期末処分剰余金	13,090,933
水道加入権等	600,929	前期繰越剰余金	1,472,360
パソコンソフト	10,139,702	当期剰余金	11,618,573
その他	3,649,749	資本合計	1,470,636,933
(3)その他固定資産	495,746,328	負債及び資本合計	3,366,654,960
関係団体出資金	6,165,000		
敷金	10,835,469		
差入保証金	37,000		
奨学金	33,548,000		
保険積立金	199,452,326		
長期前払消費税	9,699,059		
長期繰延税金資産	236,009,474		
資産合計	3,366,654,960		

監査報告書

私たち監事は、2014年4月1日から2015年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。また、理事会その他重要な会議に出席し、理事・職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。特に、中間業務監査として、当組合経理規程の見直し後の運用状況等に重点を置いた監査を実施し、更なる改善点を監査所見としてまとめ提出しました。また、重要な決算書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。このような方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書の監査結果

決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

3. 監事所見

中間業務監査において指摘した事項等は、当組合経理規程等がその通り実施されるべきことを一つの典型例として示し改善を求めています。従って、監査対象として取り上げていない事項についても、自発的な整備等により厳格な運用がなされるよう要請します。

2015年6月4日

富山医療生活協同組合

監事 藤田 康雄 中田 幸子 古沢 恭子

2014年度決算報告

《損益計算書》

自2014年4月1日～

至2015年3月31日

(単位:円)

《事業収入》	3,648,112,189
医療収入	2,617,673,522
外来収入	1,091,678,837
入院収入	1,359,560,875
訪問看護	57,957,788
健診収入	114,440,468
無低診生協負担△	501,006
保険査定等△	5,463,440
介護収入	1,018,390,820
訪問看護	75,593,150
通所介護・リハビリ	527,649,353
訪問介護	114,393,807
訪問リハビリ	19,677,610
短期入所介護	121,433,841
居宅支援	112,916,740
療養指導他	22,509,294
地域包括支援センター	24,287,200
保険査定等△	70,175
福祉収入	9,420,542
保育補助金	4,082,380
保育料	3,573,316
その他	1,764,846
福祉付帯事業	2,627,305
《事業費用》	3,551,513,114
医療材料費	315,498,148
医薬品費	170,020,700
治療材料費	136,492,649
給食材料費	8,984,799
一般管理費	3,236,014,966
人件費	2,490,467,944
委託費	246,662,296
物件費	312,681,644
リース料	41,487,363
減価償却費	144,715,719
《事業剰余金》	96,599,075
【事業外収入】	30,106,251
受取利息他	159,234
補助金収入	0
貸倒引当金戻入	3,900,000
雑収入	26,047,017
【事業外費用】	80,824,431
支払利息	6,272,933
組合債利息	122,391
雑消費費	66,246,584
長期前払消費税償却額	4,123,805
貸倒引当金繰入	3,800,000
雑損失	258,718
《經常剰余金》	45,880,895
【特別利益】	0
補助金収入	0
【特別損失】	2,260,396
固定資産除却損	1,852,196
貸倒損失	408,200
その他(過年度調整)	0
《税引前剰余金》	43,620,499
【法人税等】	22,300,000
【法人税等調整額】	△ 9,701,926
《当期剰余金》	11,618,573
【前期繰越剰余金】	1,472,360
《当期末処分剰余金》	13,090,933

《剰余金処分》

(単位:円)

I. 当期末処分剰余金	13,090,933
II. 当期剰余金処分額	
1. 法定準備金	12,000,000
2. 医療福祉等事業積立金	0
合計	12,000,000
III. 次期繰越剰余金	1,090,933

注記 1. 次期繰越剰余金は、教育事業等繰越金です。

《2015年度予算》

自2015年4月1日

至2016年3月31日

(単位:千円)

I. 事業収入	3,740,000
医療事業収入	2,661,300
介護事業収入	1,065,900
福祉事業収入	10,000
福祉付帯事業収入(運送)	2,800
II. 事業費用	3,639,000
医療材料費	320,000
一般管理費	3,319,000
事業剰余金	101,000
III. 事業外収入	23,000
IV. 事業外費用	79,000
經常剰余金	45,000
V. 特別利益	0
VI. 特別損失	5,000
税引前剰余金	40,000
法人税等△	25,000
法人税等調整額	(5,000)
当期剰余金	10,000

*役員報酬は、総額39,000千円を限度として人件費に計上しています。

虹の健康チャレンジャー7つのコース

運動～健康維持

①運動～健康維持～

ウォーキング、ラジオ体操、シルバリーハビリ体操など、身体を動かす習慣づくりを。

②あいうべ体操

1日30回以上目標に取り組みましょう！

こんな方にオススメ！

- ・いつも口が開いている。
- ・なんとなく疲れやすい。
- ・たるい、やる気おきない。
- ・アレルギー性疾患で困っている。



心いきいき 脳もいきいき

⑤脳～いきいき活性化

折り紙や音読、クイズにパズルなどで楽しく取り組みましょう。親しい仲間とのコミュニケーションは心も元気になるります。

健康習慣

③食～心と体の源

間食、夜食をやめ、毎日朝食を食べましょう。塩分は1日6グラム以下を目指しましょう。

④歯～健康の入り口

1日1回はしっかり歯をみがこう。

⑥禁煙～ほとほとのお酒

禁煙に挑戦。お酒も1日1合以内で！

できることからチャレンジ!

⑦私の健康法(自由に決めてチャレンジ!)

毎日血圧測定、早寝早起き、週に1回車を使わない...など自分なりの健康づくり目標を。

※修了者には修了記念品をプレゼント

申し込み・お問い合わせ 富山医療生活協同組合 総務部「虹の健康チャレンジャー係」まで
TEL076-441-8351 FAX076-432-8031 応募締め切りは12月28日

虹の健康チャレンジャーは自分なりの健康づくり目標を立てて、それを二ヶ月間記録しながら、実践する取り組みです。健康な習慣を身につけたいあなた！登録してみませんか？

健康づくりは継続が大事!!
虹の健康チャレンジャー登録者募集

医療職をめざす
高校生のみなさん

夏の高校生医療体験

ぜひ一度
体験に
きませんか？

富山医療生活協同組合では、富山協立病院、富山診療所、水橋診療所で医療体験を行います。

期間：7月27日(月)～8月31日(月)

対象：医師、薬剤師、看護師など医療職を目指す高校生

体験内容：それぞれの職種や日程に応じて体験内容は変わります。

医師→訪問診療(往診)、総合体験、胃カメラ体験など

看護師→清拭介助、シーツ交換など

薬剤師→病院調剤、薬局調剤、在宅指導など

お問い合わせ先

富山協立病院 医学生担当 後藤まで

TEL：富山協立病院 076-433-1077代

組合員特典の健診を
富山市大島 井上 靖子さん
今年こそ、組合員特典を
使って、健康診断を受けよ
うと思っています。
高校生の看護体験
富山市本郷町 木下 育夫さん
高校生の看護体験が四十
五名の多数であったこと
と、受け入れる側の苦勞
も多いとは思いますが、若
い生徒にとっては、貴重な
社会体験だと思います。こ

感謝！
富山市打出 上滝 澄子さん
定年になって健診をどこ
でしようかと迷った時、義
母が亡くなって引きつら
協立病院の組合員だったこ
とで受けています。段取り
もよく、対応もよくて安心
して受けています。また、
昨年十二月三十一日、娘婿
が二日ましか休みのない
のに高熱が出て夕方、快く
診てもらい三日から仕事に
行けました。涙が出るほど

無料法律相談のご案内

春山然浩弁護士(富山中央法律事務所)

時間は午後2時～4時

- ・8月20日(木)
- ・9月17日(木)
- ・10月15日(木)

予約して
ください

場所 富山協立病院地域連携室

◎お申込・地域連携室 ☎076-444-5708

転居先を必ず
連絡して下さい。
住所・電話番号の変更や
家族の変更がありましたら、
生協本部まで連絡下さい。



- ① 〇〇実剛健
- ② 下水。――現場
- ③ 朝昼〇〇の3食つき
- ④ 大地震後のゆりかえし
- ⑤ 遠視の対
- ⑥ 白衣の――
- ⑦ 要点。論文の――
- ⑧ 野球チームのメンバー
- ⑨ 小火。〇〇を出す
- ⑩ 〇〇と言え、かあ
- ★よこの力ガ★
- ★相撲の準備運動。〇〇を踏む
- ⑪ 大相撲名古屋――
- ⑫ 勤め先に通うこと
- ⑬ 大阪夏の〇〇
- ⑭ 〇〇地無用
- ⑮ 教え導く。剣道――
- ⑯ 急所。〇〇を押さえる
- ⑰ 性質の違うこと。――文化
- ⑱ 車体検査の略

【問題】
カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？
★たてのカギ★

【五月号の当選者10名】
青山 準(滑川市上梅沢)
金尾 邦子(富山市堀川小町)
井利 保夫(富山市豊田町)
佐伯 綾野(富山市大島)
島 道子(富山市姫野)
中野 定明(富山市本江)
山村 道江(富山市長柄町)
八上 真子(富山市経堂)
水橋 英和(富山市つばめ野)
千種 祐実(富山市大泉)

【五月号の解答】
七月末日の消印有効
【賞品】
正解者の中から十名の方に
五百円分の図書カードを贈呈
【あて先】
〒931-1850 富山市
豊田町一八 富山医療
生協「虹のまち」パスル係

【応募方法】
パスルの解答住所氏名
年齢と、虹のまちの紙面
や医療生協へのご意見ご
要望などがありましたら併
せて明記の上八ガキ、又は
富山医療生協ホームページ
(一面右上に記載)の「お
問合せ」メールにてご応募
下さい。
尚、虹のまちに掲載させ
て頂く事がありますのでご
了承下さい。

【応募方法】
パスルの解答住所氏名
年齢と、虹のまちの紙面
や医療生協へのご意見ご
要望などがありましたら併
せて明記の上八ガキ、又は
富山医療生協ホームページ
(一面右上に記載)の「お
問合せ」メールにてご応募
下さい。
尚、虹のまちに掲載させ
て頂く事がありますのでご
了承下さい。

クロスワード パズル

